

11

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24854報)

2023年 7月 22日 14時 20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [7月22日11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等 分析結果 [採取日 7月21日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 7月21日]</li> <li>・構内排水路 分析結果 [採取日 7月21日]</li> <li>・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 7月19日、7月21日]</li> <li>・海水分析結果&lt;港湾内、放水口付近&gt; [採取日 7月21日]</li> </ul> <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクGの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、7月23日に排水を実施します。 排水開始・終了の裏績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 7月18日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有り)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2023年7月22日

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

2023年7月22日 11:00現在

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.4 m <sup>3</sup> /h	給水系: 0.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.5 m <sup>3</sup> /h	給水系: 1.6 m <sup>3</sup> /h CS系: 2.1 m <sup>3</sup> /h	
原子炉圧力容器 内部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 26.8 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 25.0 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 26.2 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 34.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 38.2 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 30.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 28.6 °C	
原子炉格納容器 内部温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 26.3 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 26.2 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 34.3 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 34.3 °C	PCV温度 (TE-16-002): 27.8 °C 格納容器空潤機状態空気温度 (TE-16-114F#1): 28.7 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.08 kPa g	2.69 kPa g	0.47 kPa g	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm <sup>3</sup> /h (RVH-B): 15.11 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 14.88 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 6.38 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 6.49 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	RPV-A: 8.16 Nm <sup>3</sup> /h RPV-B: 8.20 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	25.9 m <sup>3</sup> /h	15.94 Nm <sup>3</sup> /h	20.52 Nm <sup>3</sup> /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.01 vol% B系: 0.04 vol%	A系: 0.09 vol% B系: 0.08 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 検出限界値 1.86E-03 Ba/cu <sup>3</sup> B系: 指示値 検出限界値 4.66E-04 Ba/cu <sup>3</sup> 1.37E-03 Ba/cu <sup>3</sup> 3.58E-04 Ba/cu <sup>3</sup>	A系: 指示値 検出限界値 1.2E-01 ND B系: 指示値 検出限界値 1.2E-01 ND	A系: 指示値 検出限界値 1.9E-01 ND B系: 指示値 検出限界値 1.9E-01 ND	
使用済燃料プール 水温度	33.6 °C	32.4 °C	※5	※5
FPC 貯槽の物 2水位	3.44 m	4.42 m	3.09 m	67.0 x 100mm

【注】単位はSI単位。  
※1: 格納容器内の放射能濃度はXe135濃度を指す。(水素濃度の検出限界は、計測装置により異なります。)

※2: 格納容器内の放射能濃度はXe135濃度を指す。原子炉格納容器内の放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※3: 使用済燃料貯槽内の放射能濃度はXe135濃度を指す。原子炉格納容器内の放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※4: 窒素注入流量  
※5: 窒素注入流量

【注】単位はSI単位。  
※1: 格納容器内の放射能濃度はXe135濃度を指す。(水素濃度の検出限界は、計測装置により異なります。)

※2: 格納容器内の放射能濃度はXe135濃度を指す。原子炉格納容器内の放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※3: 使用済燃料貯槽内の放射能濃度はXe135濃度を指す。原子炉格納容器内の放射能濃度は、原子炉格納容器内の放射能濃度を指す。

※4: 窒素注入流量  
※5: 窒素注入流量

3/11

2023年7月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## サブドレン等 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/07/21 07:15	< 5.8E+00	< 3.9E+00	1.1E+02
2号機サブドレン	2023/07/21 07:06	< 1.3E+01	2.9E+01	1.5E+03
3号機サブドレン	2023/07/21 07:26	< 4.1E+00	< 4.5E+00	< 4.0E+00
4号機サブドレン	2023/07/21 07:35	< 5.2E+00	< 4.2E+00	< 4.8E+00
5号機サブドレン	2023/07/21 07:00	< 4.4E+00	< 5.4E+00	< 4.8E+00
6号機サブドレン	2023/07/21 07:10	< 5.0E+00	< 4.5E+00	< 4.4E+00
構内深井戸	2023/07/21 09:20	< 2.5E+00	< 3.7E+00	< 3.4E+00

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<：小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10<sup>±O</sup>であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31, 3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1, 3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読む。

4/11

2023年7月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/07/21 07:35	< 5.2E+00	< 4.2E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋北東	2023/07/21 07:40	< 3.9E+00	< 5.4E+00	< 4.4E+00
プロセス主建屋南東	2023/07/21 08:10	< 4.2E+00	< 5.8E+00	< 4.3E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/07/21 07:50	< 4.3E+00	< 4.2E+00	< 3.8E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
廃却工作建屋西側	2023/07/21 07:55	< 5.0E+00	< 3.9E+00	3.9E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/07/21 07:45	< 4.3E+00	< 5.8E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/07/21 08:00	< 3.4E+00	< 3.9E+00	< 4.8E+00

・検出毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)  
 ・不平等 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。  
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。  
 ・0.0E±0とは、0.0×10<sup>±0</sup>であることを意味する。  
 (例) 3.1E+01は3.1×10<sup>1</sup>で31、3.1E+00は3.1×10<sup>0</sup>で3.1、3.1E-01は3.1×10<sup>-1</sup>で0.31と読み。  
 ・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

5/11

2023年7月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

### 構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/07/21 07:23	5.4E+00	< 5.0E-01	3.1E+00
物揚場排水路	2023/07/21 07:33	< 3.5E+00	< 6.1E-01	1.5E+00
K排水路	2023/07/21 06:00	2.9E+01	< 5.4E-01	2.2E+01
BC排水路	2023/07/21 06:00	< 3.5E+00	< 3.2E-01	< 5.1E-01
D排水路	2023/07/21 07:28	< 3.5E+00	< 4.8E-01	1.2E+00
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

核種毎の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

○、○E±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は $3.1 \times 10^1$ で31, 3.1E+00は $3.1 \times 10^0$ で3.1, 3.1E-01は $3.1 \times 10^{-1}$ で0.31と読む。

採取当日の降雨量は4 mm

排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/11

2023年7月22日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)		
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		Cs-137 (Bq/L)	
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 #1	2023/07/19 07:25	< 1.2E+01	8.4E+02	-	-	-	-	-	-	-	9.9E+01
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- 検出限界の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約10日), Co-60(約5年), Ru-106(約70日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

- 不検出 (< : 小数点) は、検出限界未満 (ND) を表す。

- 測定対象外および検出中止の項目は「-」と記す。

- O.OE±O.0 は、 $0.0 \times 10^0$  であることを意味する。

(例)  $3.1E+01$  は  $3.1 \times 10^1$  で  $31$ ,  $3.1E+00$  は  $3.1 \times 10^0$  で  $3.1$ ,  $3.1E-01$  は  $3.1 \times 10^{-1}$  で  $0.31$  と読み。

- H-3以外は厳正に検出限界未満。

※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、測定は実施せず、今回は参考値としてご報告に測定。

東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

様式 0-1 (1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24855報)

2023年 7月 22日 16時 45分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 田南 達也  
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第24852報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 11時24分</li> <li>・排水終了 : 16時14分</li> <li>・排水量 : 719m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り (無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。